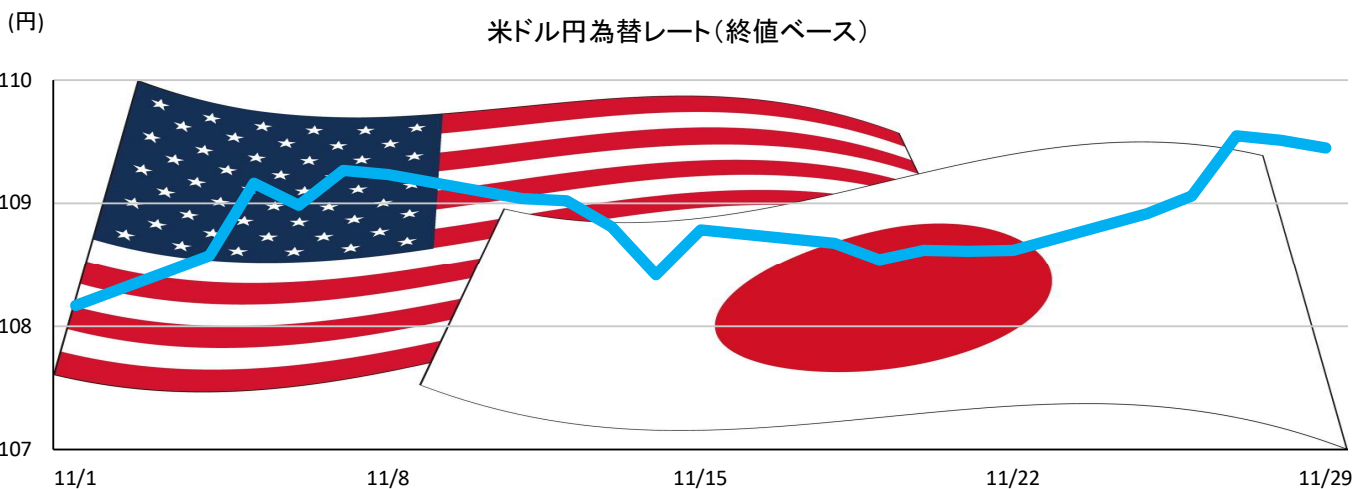


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**11月のドル円相場は107円後半～109円半ばで推移。月初は米中貿易協議の期待感から米株高を背景にドル買いとなり109円台を回復した。ただ協議が難航していると伝わると株安につられドルも108円台へ戻る展開となり、月中までは米中協議の期待感と悲観論の交錯で、一進一退の動きが続いた。その後も香港問題、欧州問題、米中協議など、良い材料と悪い材料が混在しつつ、大きな動きにつながらなかったものの、米中協議が継続していることを材料に、ややドル買いが優勢。月末には中国側から米中協議についてポジティブな発言が伝わったことで、さらにドル買いが加速。109円台半ばまでドル高が進行し取引を終えた。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**米中協議の楽観論が続いている中、トランプ大統領の米中協議に期限はないとの発言や合意は大統領選挙後でも良いとの発言でドル安となっているが、今のところ108円台を中心としたレンジ相場となっている。現時点ではドル高の期待感が上回っているが、経済指標発表で発表内容以上にドル高ドル安となっていることから、このレンジから動き出したいマーケットの思惑も見え隠れする。年明け以降ドル高が継続するのか、それともドル安に転換するのか見極めておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 24 (火)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 7 (火)	19 : 00	EU	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
1 / 8 (水)	22 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
1 / 10 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 14 (火)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
1 / 16 (木)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
1 / 21 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。